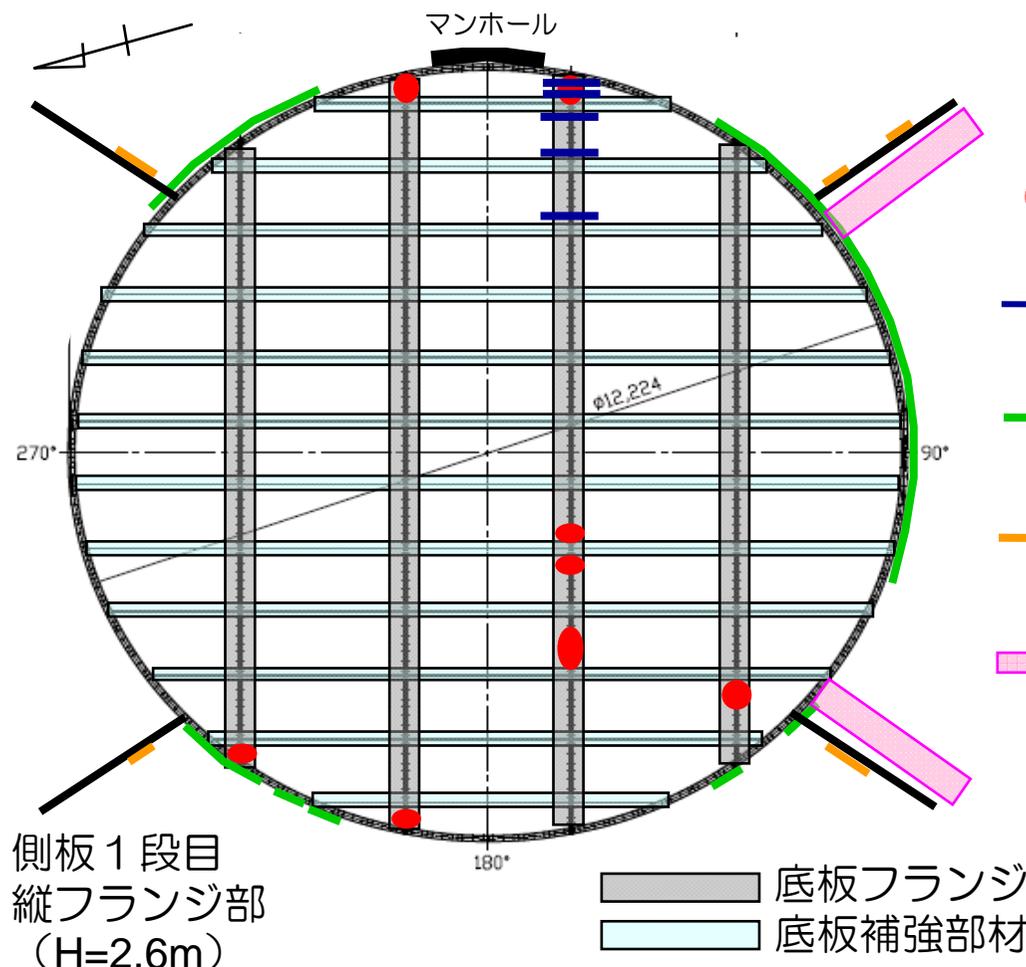


H4エリアNo.5タンク内部の調査

訂正版 (9/26再訂正)

< 参考資料 >
平成25年9月20日
東京電力株式会社

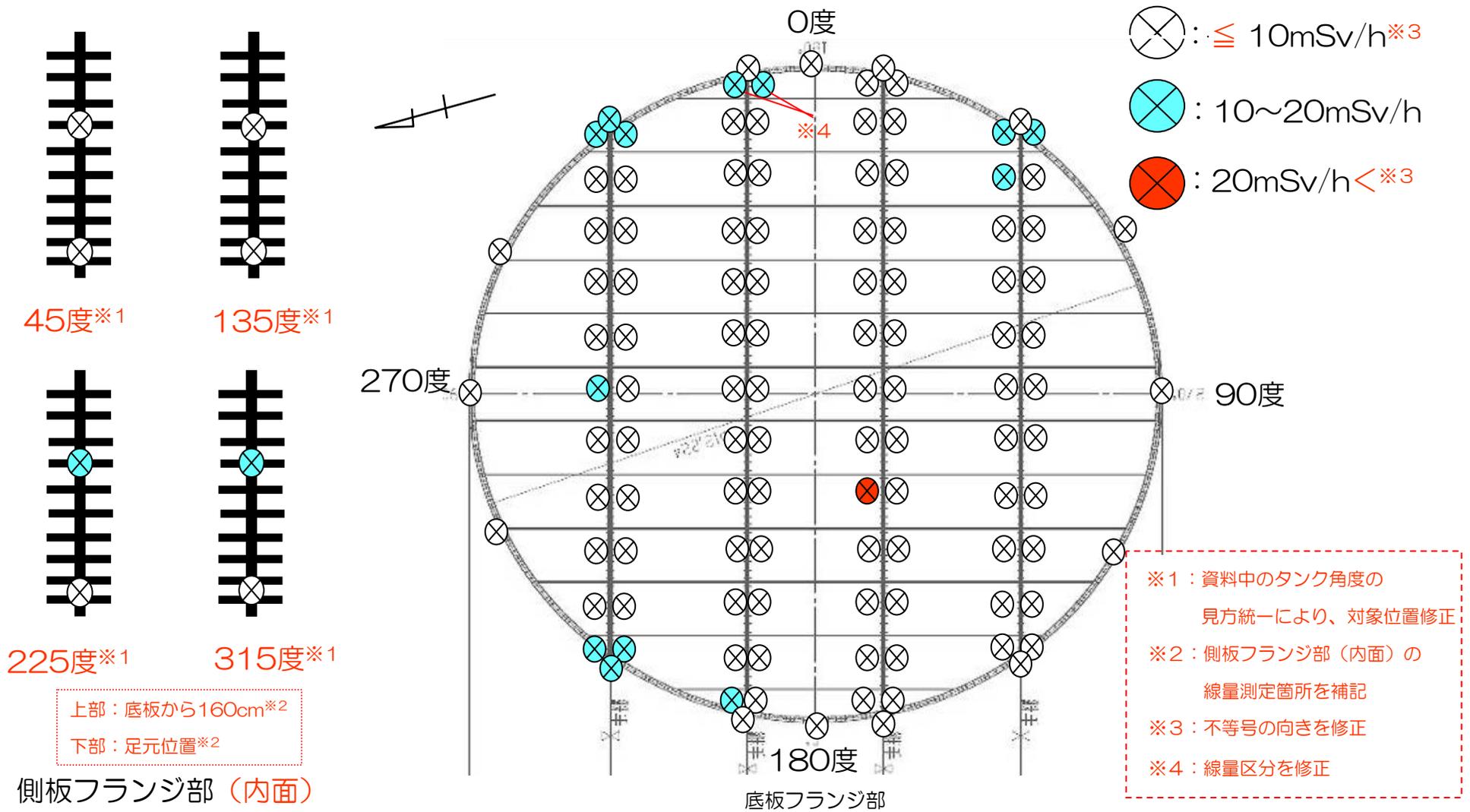
- タンク内部の目視確認を行い、側板最下部と底板とのフランジ部、および底板フランジ部にシーリング材の変形・破損を確認。
- ボルトの打診等による締結状態の確認を行い、5本のボルトに緩みを確認。



- 底板フランジ部：
シーリング材の膨らみ箇所(8箇所)
- 底板フランジ部：
ボルトの緩み箇所(5本)
- 周方向フランジ部：
パッキンの飛び出し範囲
- 側板1段目縦フランジ部：
パッキンの飛び出し範囲
- 側板1段目：
側板の錆がある箇所

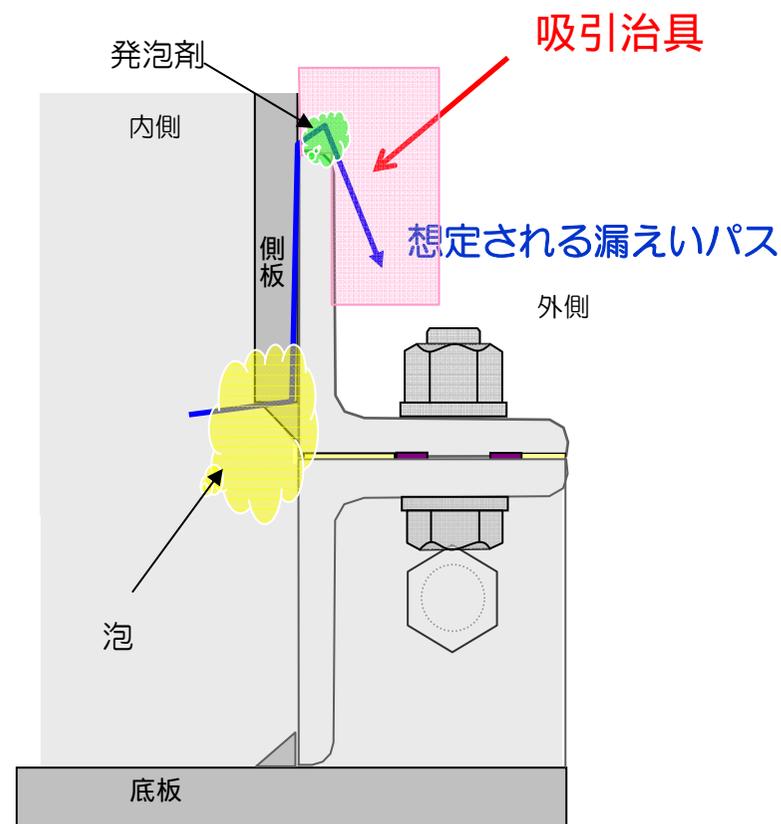
フランジ部の線量測定結果

- フランジ部の線量測定の結果、概ね10mSv/h以下（ β ：70 μ m線量当量率）であり、最大約22mSv/h（ β ：70 μ m線量当量率）であった。



タンク側板の局所バキューム試験

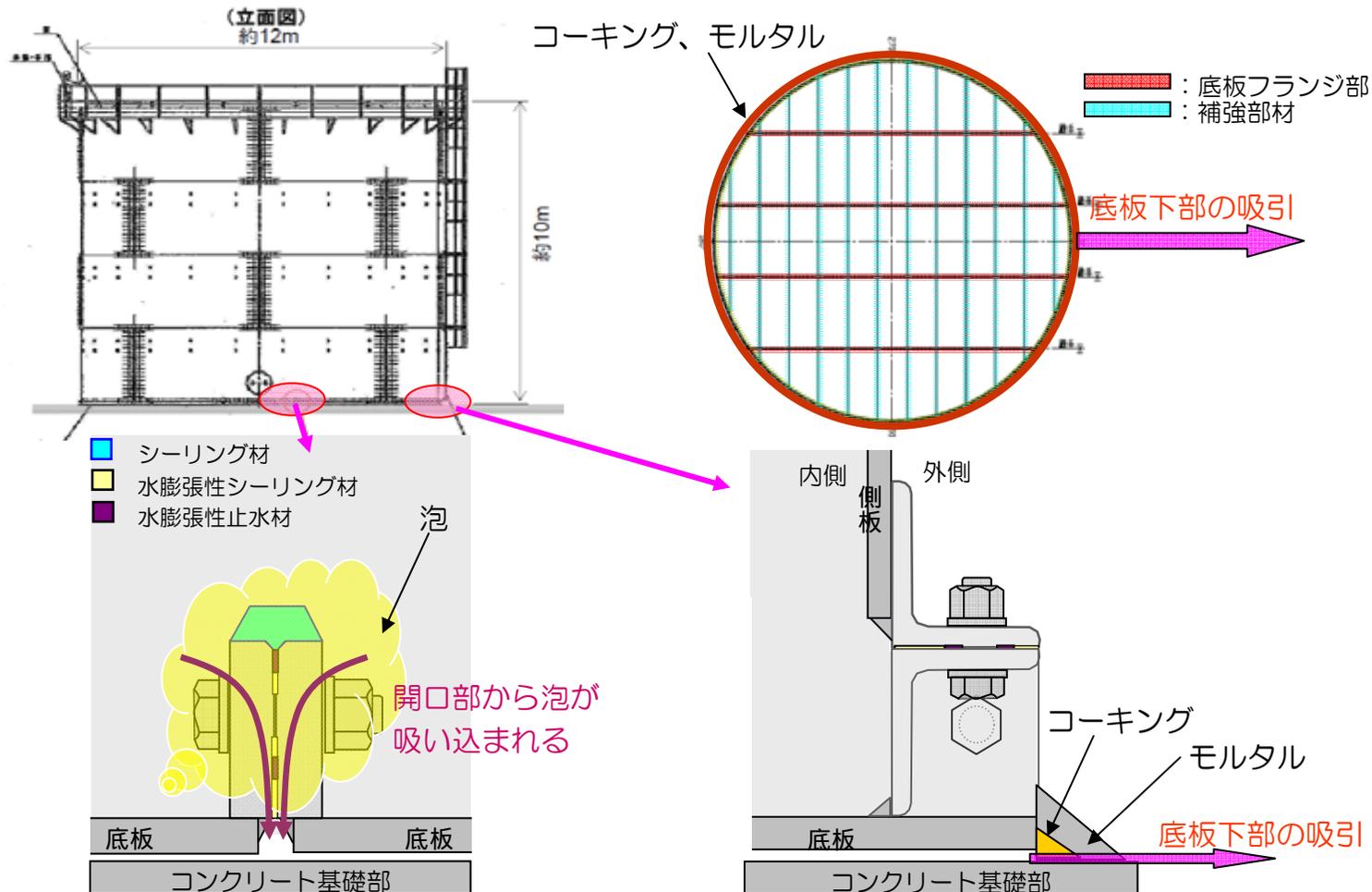
- タンク下部側板とフランジ部との溶接部のうち、比較的高線量が確認された箇所（さび部）について、局所的に吸引を実施。
- 当該部に塗布した発泡剤からの継続的な泡の発生は確認されなかった。また、タンク内部に塗布した泡も吸い込まれなかった。



側板－フランジ部断面図

タンク底板下部のバキューム試験

- タンク内部のフランジ部等に泡を塗布し、タンク底部外側を吸引する。開口部から泡が吸い込まれることにより、開口部の位置を特定する方法。



H4エリアNo.5タンク内部の調査状況（写真）



底板フランジ部ボルトのゆるみ箇所
(平成25年9月19日撮影)



底板フランジ部シーリング材の膨らみ
(平成25年9月19日撮影)



周方向フランジ部 パッキンの飛び出し
(平成25年9月19日撮影)



側板1段目縦フランジ部 パッキン飛び出し
(平成25年9月19日撮影)



側板1段目 錆の箇所
(平成25年9月19日撮影)